

全体概要

- ✓ 日本学術会議が事務局を務めるアジア学術会議（SCA: Science Council of Asia）の第23回年次会合が、バングラデシュ科学アカデミーの主催により、“Fourth Industrial Revolution and Future Society”（第4次産業革命と未来社会（仮訳））をテーマに開催され、10カ国・地域から300名以上が参加。
- ✓ 日本学術会議からは、光石衛会長を含め、5名の会員・連携会員が代表派遣者*として参加し、現地及びオンラインで各セッションに登壇。
- ✓ 本期間中に開催された理事会において、第23回アジア学術会議宣言文が全会一致で採択。
- ✓ 次回はパキスタン科学アカデミーの主催により、食料安全保障をテーマに、2025年11月にパキスタン・イスラマバード／オンラインで開催予定。

開催概要

開催日時	2024年11月30日（土）～12月2日（月）3日間
場所	バングラデシュ科学アカデミー（バングラデシュ・ダッカ）及びオンライン
主要な参加国／地域	バングラデシュ、中国、台湾、日本、韓国、マレーシア、モンゴル、パキスタン、フィリピン、スリランカ（10カ国・地域）

■ 日本学術会議からの代表派遣者*

氏名（敬称略）／所属	参加概要
臼井 恵美子 （オンライン参加） （第一部会員、一橋大学経済研究所教授）	・ PLENARY LECTURE I Enhancing women's representation in science
光石 衛 （オンライン参加） （第三部会員、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構理事／東京大学名誉教授）	・ INAUGURAL CEREMONY ・ PANEL DISCUSSION Role of the scientists to meet the global challenges through 4th industrial revolution
大倉 典子 （オンライン参加） （連携会員、中央大学研究開発機構教授／芝浦工業大学名誉教授）	・ SYMPOSIUM ON FOOD SECURITY Case studies on the identification of factors of importance for food security
澁澤 栄 （連携会員、東京農工大学卓越リーダー養成機構特任教授）	・ PANEL DISCUSSION Role of the scientists to meet the global challenges through 4th industrial revolution ・ CONCLUDING SESSION
門田 有希 （連携会員、岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域准教授）	・ YOUNG RESEARCHERS' SESSION Expectation from 4th IR from the perspective of Young Researchers: Introduction

* 令和6年度アジア学術会議に関する国際会議等への代表者の派遣の基本方針（令和6年2月29日日本学術会議第363回幹事会決定）に基づく代表派遣者。

■ 理事会で承認された役員

	氏名（敬称略）／所属
会長	ムハンマド・アスラム・ベイグ （パキスタン科学アカデミー事務局長）
副会長	A K アザド・チョードリー （バングラデシュ科学アカデミー会長）
次期会長	薛其坤（シュエ・チークン） （中国科学技術協会会員）
事務局長	澁澤 栄 （日本学術会議連携会員）

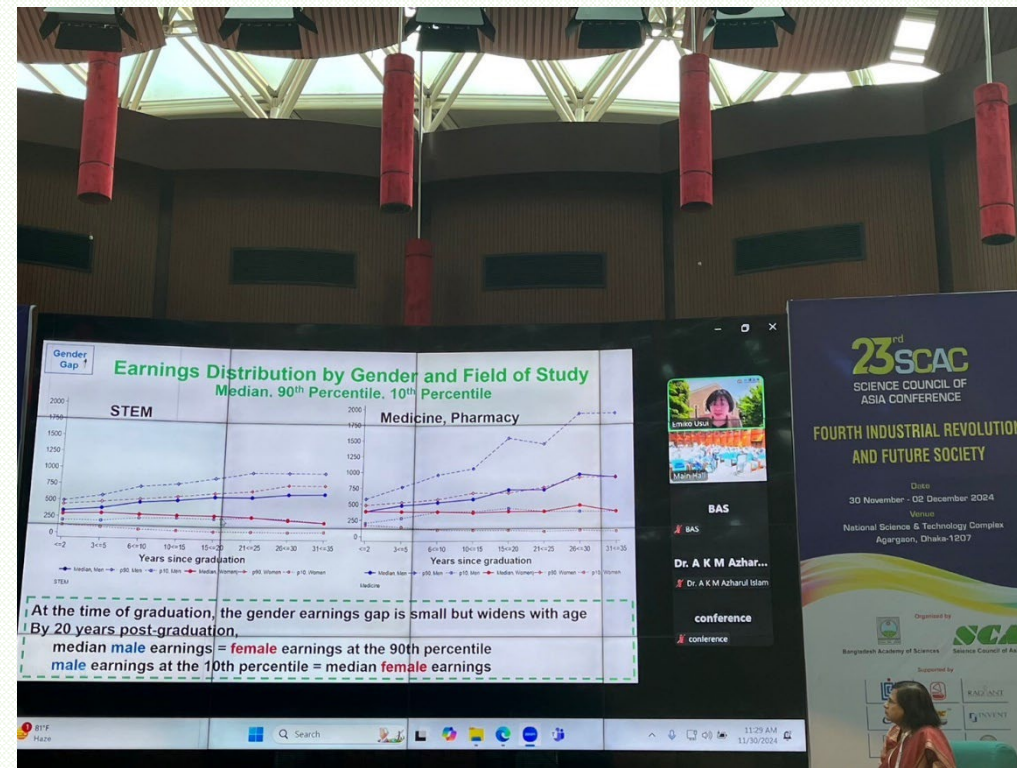


理事会の様様

日本学術会議からの代表派遣者



光石会長：INAUGURAL CEREMONY(ビデオメッセージ)



臼井会員：PLENARY LECTURE I (オンライン)



大倉連携会員：SYMPOSIUM ON FOOD SECURITY(オンライン)



門田連携会員：YOUNG RESEARCHERS' SESSION



澁澤連携会員及び光石会長：PANEL DISCUSSION



澁澤連携会員：CONCLUDING SESSION(大会宣言の読上)